

広報

ふだい



悲惨、養殖ワカメ

(4月15日午後1時20分、鳥居地区)

巨大津波でぐちゃぐちゃになった養殖ワカメのロープを片付ける漁師ら

◆東日本大震災により一部紙面を変更します。ご了承願います。

主な内容	東日本大震災 復興の道 険しく	2～5	議会だより No.115	12～18
	平成23年度の予算	6～7	村内の異動、くらしの情報	19～21
	村の話題	8～11	声・お便り、応援メッセージ	22～23

復興の道 険しく

過去最高 被害額は38億円

「普代のワカメは本当においしい」。そう言って毎年全国の皆さんの食卓に並ぶ普代自慢の養殖ワカメが、今年は収穫できなくなりました。3月11日、東日本を襲った巨大津波により、村の養殖ワカメと養殖コンブは壊滅状態。さらには漁船も約550隻が破損や流出した。倉庫や加工場、資材など被害額は過去最高の約38億円。復興までの道は険しい。

先見えない不安

震災から1カ月が過ぎた。しかし復興までの道は険しい。養殖施設の片付けやがれきの撤去、漁船の修理や新たな船の購入、作業場の建設、収入の確保など問題が山積している。

徐々に被害状況も分かり、4月20日現在で被害額は過去最高の38億円にも上る。漁船は約600隻のうち約550隻が破損や流出。被害額は6億円にも及ぶ。「船がなければ、どうにもならない。収入がない」と漁師らも路頭に迷っている。被災した上に仕事を失い、生活再建の目途すら立たない人が多い。

さらには、荷さばき施設の機械類や倉庫、加工場などで10億円以上の被害額に。この額は今後も増える見込みだ。復興計画を立てようにも、過去に例がない大災害。村も漁協も漁師らも頭を抱える。

「命は助かったが、冗談ではなく明日食べる米も買えない。仕事がないから頑張ろうもない……と沖の仕事から帰った若い漁師らも先の見えない不安を口にします。

村は4月21日の臨時議会で、震災関連に約1億円計上し対応を示している。防潮堤と水門が巨大津波に立ち向かい食い止めたように、今度は皆がかつて経験したことのない事態に立ち向かわなければならぬ。この1カ月少しづつだが確実に前進している。「負けるな普代！」



団子になった養殖用ロープにからまり付く松の木。漁師たちはチェーンソーで根の部分の部分を切ってほどこいていく。引き揚げられたロープは、鳥居地区の網干場に運ばれ浮き球などを切り離す作業が行われる(4月5日)



津波後そのままになっている漁船。港に戻すだけで約500万円かかるという(4月11日)



撤去作業が続く村漁協の製造加工場や修理待ちの漁船。まだまだ片付け作業は続く(4月15日)

村の被害状況

4月20日現在 単位：万円

村漁協被害 (同漁協まとめ)

建物・機械・汁器	43棟	6億8,199
車両	1台	2,230
船舶	8隻	3,671
養殖資材		1億1,509
計		8億5,609

漁師組合等被害 (各定置網)

倉庫・加工場		4,255
漁業資材		1,000
船舶	12隻	4,247
計		9,502

漁家等個人被害

倉庫・加工場	84棟	4億9,065
漁業資材	26	1億5,486
船舶	522隻	5億5,371
車両	9台	638
養殖ワカメ	125	2億2,148
養殖コンブ	87	1億8,933
養殖資材	125	1億5,017
計		17億6,658

地区被害 (役場まとめ)

車両		調査中
沢漁港		2億2,000
白井漁港		3,000
黒崎漁港		500
計		2億5,500

公共被害 (役場まとめ)

家屋	16棟	4億9,239
車両	1台	100
河川・道路	9カ所	7,000
漁業集落処理場		2億0,000
情報連絡無線	9基	4,500
地域情報通信基盤		271
計		8億1,110

※太田名部漁港、堀内漁港は県管轄により未計上

合計 37億8,379万円

県内の被害者数

市町村名	死者	行方不明者	負傷者	家屋倒壊数
陸前高田市	1,347	822	不明	3,368
大船渡市	296	196	不明	3,629
釜石市	753	583	不明	3,723
大槌町	684	1,044	不明	調査中
山田町	546	378	不明	2,638
宮古市	404	534	33	4,675
岩泉町	7	0	0	197
田野畑村	14	24	8	238
普代村	0	1	1	0
野田村	38	0	17	調査中
久慈市	2	2	8	238
洋野町	0	0	0	26
その他の市町村	0	6	98	99
合計	4,091	3,590	165	18,831

※人的被害者数は、住所地ではなく、被害に遭われた場所の市町村に計上しています。(4月22日現在県災害対策本部まとめ)



皆さまの温かいお気持ち、心から感謝いたします。

義援金・支援金 ふるさと応援基金

(4月20日現在 敬称略)

▼矢巾町役場さつき会 10万円▼萩牛部落 3万円▼(株)大畑建築設計 20万円▼日本共産党中央委員会 3000万円▼緑区自治会 3万円▼スガワライホ 10万円▼シャイスイサンドボクケンキウウシヨ 20万円▼ナカムラシユウ 1万円▼シンニホンセツケイ(カ)トウホクシシヤ 5万円▼金ヶ崎町 30万



義援金を手にする新採用の前川正樹君(総務課)

円▼匿名 1万円▼オオタノブユキ 3000円▼ヨコシマツカサ 1万円▼イワテギンコウアキタシテン 5000円▼ナカニシヨウスケ 1万円▼トザトエイコ 1万円▼磯辺磊三 1万円▼アラキダトミコ 1万円▼海洋産業(株)主 島山茂樹 20万円▼(カ)リュウウツウギケン 10万円▼(財)漁業漁場漁村技術研究所 景山智将 5万円▼全国町

村議会議長会 3万円▼岩手県町村議会議長会 2万円▼静岡県掛川市 藤田美和 友人一同 14万3154円▼ブルシー・アンド・グリーンランド財団 会長 梶田功 5万円▼北海道壮瞥町役場 10万円▼黒沼建築設計事務所 5万円▼シラハタヒトシ 10000円▼ナカムラセイザブロウ 1000万円▼普及産業(株)代表取締役 熊谷儀七ほか 31万4306円▼明和(株)代表 魚田峯男 10万円▼すし処かぐら 店主 2万6049円▼タカハシマコト 1000円▼(株)久慈中央商事 代表取締役 枇杷邦彦 10万円▼日本自治体労働総連合 50万円▼協同組合岩手県資産評価システムセンター 理事長 尾形善美 20万円▼ササキツトム 50000円▼(財)岩手県対がん協会会長 大堀勉 10万円▼オダコウゾウ 1000万円▼碓石憲治 5141円▼岩手県東部郵便局長会 下閉伊部会代表 普代郵便局長 岩崎勉、堀内郵便局長 新屋喜久男 5万円▼カサノヤスヒコ 5万円▼ムラカミヤスエ 1万円▼ヤハバチヨウカイケイカンリ 47万6587円▼平泉町 20万円▼新岩手農業協同組合代表

事組 会長 田沼征彦 10万円▼関正夫 10000円▼山口建設(株) 50万円▼(社)国民宿舎協会 10万円▼兵庫県たつの市長 5万円▼フジサワサチコ 20000円▼越利行 10万円▼隠岐静江 1万円▼八木鈴江 2万円▼橋本二 5000円▼本澤一男 10万円▼ふるさと普及会 63万3000円(コバヤシハルエナカイユウシチ ムラカミアヤ トミカワユウコ マサヤエイゴ ネギシトシオ ミヤウチヨシハル マツシマフジエ キヨカワヨウ タナベエツコクマガイトシキ ゼニブクロセイサクナカノケンジ ノザキカズユキ カツ

タユウスケ ヒナタキチロウ テラダノブ ナガミエ ウメツギンコ カワサキノリコ タカハシタダヒサ ニユウユリコ タカヤナギズヨヒライフサコ フカワタリツネオ トミカワダイスケ フカワタリマサシナカヤマテイコ ジャバシリフクジ サカモトツネオ ハタケヤマゴウイチフルヌマカツオ ハトリサトコ ウエノハルオ ナガネヨシト イケモトスミ クマガイブナヤ サガイサオイワネキヨエ

※義援金のほかたくさんのお救援物資などをいただいています。ありがとうございます。

—— 義援金・支援金などの受け付け ——

村では、東日本大震災の災害義援金などを、次の通り受け付けています。

- 義援金の受付方法
- ◎現金(窓口) 普代村役場総務課 午前8時30分～午後5時30分
- ◎現金書留 封筒に住所、氏名のほか「災害義援金」とご記入の上、下記のお問い合わせ先へお送りください。
- ◎口座振込 金融機関名：岩手銀行野田支店(店番046) 口座番号：普通預金 2018960 口座名義：普代村地震災害義援金(フタイムラジシサイガイギエンキン)※住所、氏名の確認のため事前に下記のお問い合わせ先にご連絡ください。

- 税法上の取り扱い この義援金は、所得税法第78条第2項第1号の規定に基づく寄付金控除(2千円を超える分)、地方税法第37条の2第1項第1号及び第314条の7第1項第1号の規定に基づく寄付金控除(5千円を超える分)、法人税法第37条第3項第1号の規定に基づく損金として扱われます。
- お問い合わせ先 普代村役場総務課 〒028-8392岩手県下閉伊郡普代村9-13-2 (TEL0194-35-2111 FAX0194-35-3017)

東日本大震災◆村長メッセージ

七転八起、漁業の再生を

普代村長 深渡 宏



4月11日視察に訪れた鳩山由紀夫前内閣総理大臣に1日も早い国の支援を訴える深渡村長

太田名部、堀内を中心とした漁港関連施設、漁船や養殖施設などは全てが被害を受けました。壊滅的な状態です。浜はこれから養殖ワカメ、そして養殖コンブと、一年の中で最も忙しい時期を迎えるという時に、今度の津波被害は、言葉では言い尽くせない事態となりました。

これまでに、エチゼンクラゲによるサケ被害、ワカメへのスイクダ虫被害、年末年始にかけての低気圧被害など、続けざまの自然災害に大打撃を受けてきた漁家にとって、とどめを刺すような今度の津波被害は、言いようのない失意のどん底にある状態だと思います。



震災1カ月後の4月11日、太田名部漁港では初の入札が行われました

今回の海岸部の未曾有の被害に対する、国、県の具体的な、手厚い復興支援策を一刻も早く打ち出し、取り組んでいただくことを強く要望するものであります。そして、漁業者の皆さんの生活、生産基盤が一日でも早く確保されるよう、宜しくお願いいたします。

漁業者の皆さんの意欲低下が一番心配です。村の主要産業である水産業の一日も早い復興が村の再生につながることを考えます。七転八起という言葉があります。まさに、

「皆が力を合わせて普代村の漁業を再生するんだ」という、強い気持ちを持って立ち上がっていきましよう。世界有数の三陸漁場の火を絶対消してはなりません。今こそ、気持ちを一つに力を合わせ、頑張らしましょう。村長として、身を削ってでも村民と一緒にになり

の難局に立ち向かっていく考えです。漁業施設などへの被害は甚大。その中で、他町村と比べ村内では住家への被害、あるいは人命、人身事故などは最小限にとどまることができました。住家、人命が救われた大きな要因は、まず防潮堤(普代水門、太田名部水門)の役割がありました。想像を絶する津波の威力とともに、普代村に有する防波堤の威力をこれほどまでに知らされたことはありませんでした。津波に立ちはだかたつ防波堤が多く、住民の命を守ってくれました。これまでの先人達が築いてきた防災対策への取り組みに敬意を表するところであります。

普代村では、長い歴史の中で明治から昭和のはじめの三陸津波、そして三陸フェーン大火など、数多くの自然災害を乗り越えてきました。やはり、これも先人達の不屈の精神が普代村を復興、再生してきたと思います。先人達の精神を無にすることなく、村民一丸となつてこの数百年に一度といわれる災害を乗り越えていかなければなりません。そして、漁業の村として、観光の村として必ずや復興、再生を果たしたいと思っております。

村民の幸せ願い 23億円

雇用、老人福祉に重点

平成23年度の当初予算が、3月定例会で決まりました。一般会計当初予算は23億7300万円です。前年度比9%の増でした。本年度は従来の漁港や道路整備に合わせ、緊急雇用や老人福祉施設の増設などに重点を置きながら、多岐にわたる事業を進めます。村民一人ひとりの幸せのため大切に使用します。今年の予算のあらましをお知らせします。

一般会計予算は、村の基本的な仕事に充てるお金のことで、歳入と歳出に区分されます。歳入(入るお金の主なものは、国から交付される地方交付税。全体の57.9%を占め、本年度は昨年度より若干多い13億7290万円を見込んでいます。)

国や県などから借り受ける村債は2.9%増の3億690万円(12.9%)、国・県支出金(補助金)は3.3%増の3億2088万円(13.5%)となっています。

また皆さんが納めた村税、基金(貯金)からの繰入金などを合わせた自主財源は3億1221万円(13.2%)となっています。歳出(使うお金を目的別に

見ると、漁港や役場庁舎などを建設した際の国や県などへの借金返済のための公債費は前年度より1.9%少ない3億9970万円(16.9%)、村有財産や役場庁舎などの管理のための総務費が2.9%減の3億6882万円(15.5%)、子育て支援や福祉サービスなどの民生費が7.8%と大幅増の6億1380万円(25.9%)となっています。

6特別会計の予算総額は8億9350万円です。前年度と比較5%の増となっています。

以上、23年度の主な予算をお知らせしましたが、東日本大震災津波に関連する漁業者の救済や漁港施設の復旧・復興など、これから新たな支援策を考えていかなければなりません。



総務費 ▶ 広報ふだい発行【341万円】 ▶ 庁舎清掃等業務委託料【525万円】 ▶ 久慈広域連合負担金(総務)【724万円】 ▶ 村営バス運行業務委託料【113万円】 ▶ 消費者救済資金貸付【100万円】 ▶ 住民情報システム改修委託料・システムリース料【1,525万円】 ▶ 選挙費(県知事・県議・村長・村議、農業委員会)【984万円】

民生費 ▶ 村社会福祉協議会運営費補助金【726万円】 ▶ 障害者等自立支援給付費【5724万円】 ▶ 老人福祉施設等整備事業費補助金【2億1060万円】 **衛生費** ▶ 保育所入所措置費委託料【643万円】 ▶ 久慈広域連合負担金(火葬場建設)【2098万円】 ▶ 同負担金(火葬・し尿・塵芥)【4450万円】



農林水産業費 ▶ 農用地総合整備事業負担金【5601万円】 ▶ 県営普代地区農地開発事業債務負担金【6981万円】 ▶ いわて希望農業担い手応援事業補助金【533万円】 ▶ 林業事業推進資金貸付金【1000万円】 ▶ 太田名部・白井漁港整備【6500万円】 ▶ 水産業活性化補助金【700万円】



23年度の主な事業と予算(▶は支出科目名、【】内は予算額、単位：万円)



商工費 ▶ ふるさと雇用再生特別基金事業【740万円】 ▶ 緊急雇用創出事業【158万円】 ▶ 重点分野雇用創出事業【446万円】 ▶ 地域人材育成事業【390万円】 ▶ 普代村商工業振興補助金【280万円】 ▶ 中小企業振興資金預託金【1000万円】 ▶ 北緯40度ふだいまるごと観光物産事業【320万円】

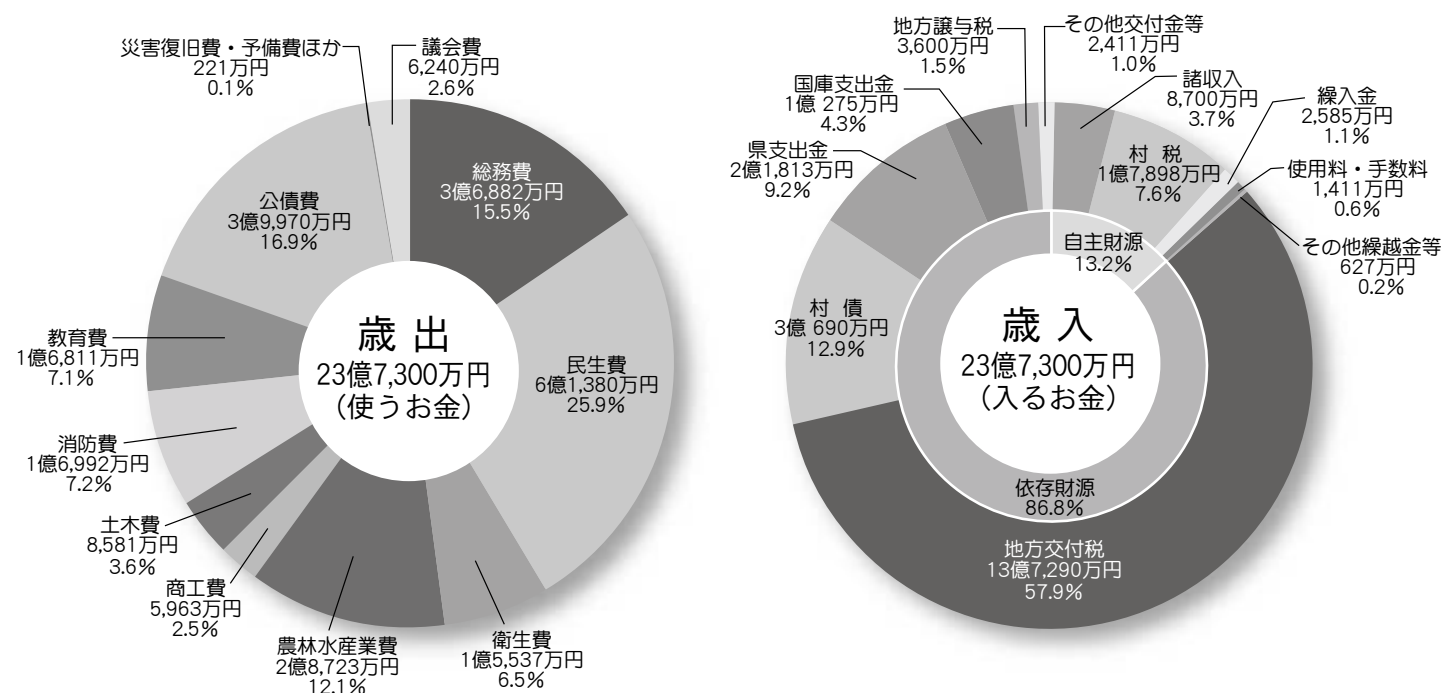
土木費 ▶ 緊急雇用創出事業【851万円】 ▶ 村道補修工事【330万円】 ▶ 村道軟牛線用地測量業務委託・同改良工事【2500万円】 ▶ 浄化槽設置整備事業費補助金【770万円】 ▶ 住宅・建築物耐震改修等事業費補助金【60万円】 **消防費** ▶ 久慈広域連合負担金(消防・消防施設整備)【1億4755万円】



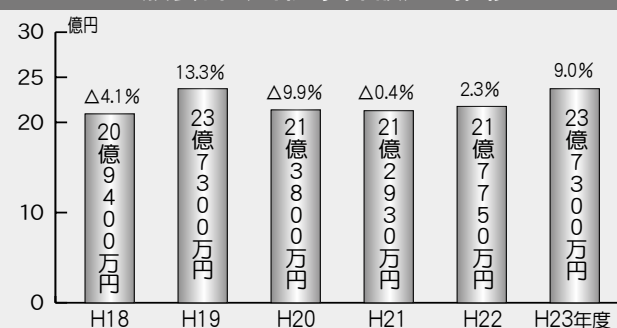
教育費 ▶ 児童生徒輸送業務委託料【807万円】 ▶ 北緯40度普代村学習塾【88万円】 ▶ パソコン借上料【351万円】 ▶ 放課後子ども教室推進事業【231万円】 ▶ 学校支援地域本部事業【77万円】 ▶ スポーツ教室開催事業委託料【500万円】 ▶ 社会体育館指定管理業務委託料【300万円】 ▶ 給食材料費【1459万円】



一般会計予算の構成



一般会計(当初予算額)の推移



特別会計予算額 ()内は前年度比

- 国保事業 4億5,800万円 (△2.8%)
- 国保診療施設事業 2億800万円 (5.9%)
- 簡易水道事業 9,080万円 (25.2%)
- 休養施設事業 9,770万円 (46.3%)
- 漁業集落排水事業 2,180万円 (△12.8%)
- 後期高齢者医療事業 2,440万円 (△5.6%)

総額 8億9,350万円 (5.0%増)

村教育振興運動推進大会 大人が模範示そう

表彰や講演、カルタ大会も



約70人が参加し、子どもの健やかな成長のため交流を深めました

家庭や地域の教育力の向上をテーマに、22年度の村教育振興運動推進大会が2月5日、役場で開かれました。報告会には教育関係者や父母、地域住民ら約70人が参加。教育委員会表彰感謝状の贈呈では、道合多喜夫教育委員長が普代小・中学校に長年生け花を贈り続けている畠中ヒロさん（上区）に感謝状を手

渡しました。村教育振興運動推進委員会表彰では、普代中学校部のコーチとして生徒の指導に尽力した石花繁美さん（堀内）に、榎谷幸正委員長が感謝状を授与。児童生徒の表彰では、県や久慈地区でのコンクール、各種スポーツで活躍した4団体、12個人が表彰されました。講演では「子どもたちの豊

◆22年度教育委員会感謝状
▼畠中ヒロ（上区） 普代小・普代中学校の両校に対し、長年にわたり年間を通して生け花を贈り、快適な教育環境づくりと児童生徒の健全育成に努め、本村の教育行政の推進に尽力した。
▼大峠京子（堀内） 普代村体育指導員として長年にわたり、普代村の社会体育振興に理解と情熱を持ち、各種行事の運営や地域指導者として、生涯スポーツに積極的に関わり本村社会体育の推進に尽力した。

◆22年度教育振興運動推進委員会表彰
▼日向美羽（普代小6年） 第5回久慈市小学校陸上記録会6年女子100メートル（15秒2）
▼及川愛（普代小5年） 第26回全国小学生

陸上記録会6年男子1000メートル第2位（3分18秒）
大会新記録第2位（3分18秒）
▼普代オーシャンズ（赤坂祥基主将） 第30回全日本学童軟式野球大会下閉伊北部予選大会優勝・第32回全国スポーツ少年団軟式野球交流大会岩手県予選大会「いわて牛乳カップ」準優勝・第32回全国スポーツ少年団軟式野球交流大会東北1ブロック代表決定大会3位
▼佐々木愛莉香（普代中3年） 久慈地区通信陸上競技大会女子共通走幅跳1位（4メートル53センチ）
久慈地区中学校陸上競技大会共通走幅跳1位（4メートル41センチ）
▼普代中バドミントン部（代表・太田明寿） 久慈地区中学校総合体育大会バドミントン

2010年度 活躍した人の紹介



活躍した児童生徒に表彰状を授与する榎谷委員長

陸上競技交流大会岩手県大会久慈地方大会5年女子100メートル第1位（15秒1）
第5回久慈市小学校陸上記録会5年女子100メートル第2位（15秒0）
大会新記録
▼赤坂祥基（同6年） 第5回久慈市小学校

陸上競技交流大会岩手県大会久慈地方大会5年女子100メートル第1位（15秒1）
第5回久慈市小学校陸上記録会5年女子100メートル第2位（15秒0）
大会新記録
▼赤坂祥基（同6年） 第5回久慈市小学校



カルタで交流する子どもたち

かなところからだを育むために」と題し、元一戸町教育委員会教育相談員の折館一男さんが「育てたように子どもは育つものです。子どもに投げかける言葉を吟味し、大人が生き方の模範を示そう」と訴えました。講演後は、昨年同委員会が作った「普代夢つなぎカルタ」を使って大会も行われ、交流を深めました。

体育大会バドミントン競技個人戦ダブルス優勝▼普代中学校部（代表・大上晋平） 岩手県少年軟式野球大会兼全日本軟式野球大会下閉伊北部予選優勝▼普代中バドミントン部（代表・佐々木紘樹） 久慈地区中学校新人体育大会バドミントン競技団体戦優勝▼新屋貴文（同2年）・向川戸剛志（同） 同個人戦ダブルス優勝▼澤口未来（同2

年） 平成22年度中学生の「税についての作文」コンクール岩手県納税貯蓄組合連合会会長賞▼立白翔大（同3年） 同久慈税務署長賞▼中山翔太（同3年） 同久慈地区納税貯蓄組合連合会長賞▼榎谷美祈（同1年） 平成22年度全国中学生人権作文コンテスト岩手県大会宮古人権擁護委員協議会長賞▼普代中吹奏楽部（サクソフォン四重

奏） 山田彩華・嘉村佳那恵・星野うらら・金田友美絵） 全日本アンサンブルコンテスト第30回岩手県大会久慈地区大会久慈地区大会サクソフォン四重奏賞・同岩手県大会金賞▼普代中吹奏楽部（木管三重奏） 菅野みちる・嘉藤瑞紀・柳澤海華） 同久慈地区大会木管三重奏賞賞▼山田彩華） 同大会（敬称略）



「三歳むし歯ゼロ」で表彰された皆さん。毎日の丁寧な歯磨きの結果です



左から藤原所長、7020表彰の銭袋さん、金子さん、8020表彰の佐々木さん、日向さん

一生付き合う「歯」大切に 保健推進員4人、むし歯ゼロ16人、「7020・8020」4人を表彰

平成22年度第3回保健推進員会議が2月22日、保健センターで開かれ、平成22年度の活動の反省や今後の動向などが話し合われました。

開会では、「三歳児童むし歯ゼロ」の子どもも16人、70歳で自分の歯が20本以上ある人を表彰する「7020」達成者2人、80歳で自分の歯が20本以上ある人を表彰する「8020

0」達成者2人、保健推進員勤続10年の5人に表彰や感謝状が贈られました。講師で藤原所長は「日ごろの努力の成果です。皆さんが7020、8020を目指し歯を大切にしてください」と話していました。

表彰者、感謝状を授与された皆さんは次の通りです。
◆三歳むし歯ゼロ表彰 前列左から▽下道桃花（黒崎）▽大上結衣（中央区）▽熊谷風紗（中央区）▽前川瑠唯（旭日区）▽高橋凛（中央区）

上向陸（堀内） 太田清音（太田名部） 中田大翔（白井） 後列左から▽立花つくし（上区）▽深渡美希（堀内）▽林下蘭（上区）▽畠山美咲（黒崎）▽金子葵（黒崎）▽前川佑雅（上区）▽上神田美峰（中央区）▽宮本愛羅（堀内） 欠席

◆7020達成者表彰▽金子トシ（黒崎）▽銭袋金也（上区）
◆8020達成者表彰▽佐々木他三郎（萩牛）▽日向政己（同）
◆保健推進員勤続10年感謝状▽照井トミ（太田名部）▽桜庭光代（中央区）▽中村玲子（上区）▽赤坂幸子（白井）（敬称略）

管打楽器ソロコンテスト東北大会

山田さん(2年)が金賞

第19回全日本中学生・高校生管打楽器ソロコンテスト東北大会が2月27日、宮城県の仙台市広瀬文化センターで行われ、普代中吹奏楽部(山田彩華部長、部員10人)の山田彩華さん(2年)が見事、東北大会で金賞に入賞しました。同コンテスト中学生部門には東北6県から40人が出場。山田さんはソプラノサクソで14番目に登場。ピアノ伴奏をした顧問の齋藤ルミ子先生とともに「ドュジエム」という曲をステージ上で約4分間演奏し、練習の成果を発揮



東北大会で金賞に輝いた山田さん

しました。同校または自身初の東北大会のステージに立った山田さんは「本番前にみんなが手紙や101羽の鶴を作ってくれたので、心強くベストの演奏ができました。入賞した人は表現力がすごいと思いました。貴重な経験でした」と感想を話していました。同部門では40人中13人が金賞。その内上位3人が全国大会の切符を手に入れますが、山田さんは惜しくも5位でしただ。(山田さんは3年生に進級しています)

子ども園で初入園式

認定こども園69人でスタート



元気に返事をする新入園児

普代村立認定こども園となった初めての「はまゆり子ども園」(日沢栄子園長、園児69人)

入園式が4月8日、同園ホールで行われました。新入園児23人は名前を呼ばれると「ハイ」と元気よく返事をしていました。子ども園初年度は、さくら

赤坂君(普小6年)、及川さん(普小5年)

スーパーキッズ4期生に



狭き門を見事突破した赤坂君(左)と及川さん

国内外のトップアスリートを目指す、県内各小学校で行われた身体力テストでA・Bランクになった5年生、Aランクの

体協・県教委などが展開する「いわてスーパーキッズ発掘・育成事業」の4期生に普代小5年の赤坂祥基君と同5年の及川愛さんが選ばれました。

6年生を対象に募集し、483人が応募。2次選考、最終選考をクリアした33人が選ばれました。今後、月1回の体力・運動能力向上プログラムや保護者合同の食事指導などのスペシャルスクールを受講します。赤坂君は身長163cm、48kg。好きな言葉は「一球入魂」、好きな食べ物は肉類。一方、及川さんは身長149cm、34kg。好きな言葉は「愛」、好きな食べ物はハンバーグと話していました。(2人はそれぞれ進学、進級しています)

新たな観光ルートに期待

普代―岩泉間 農業用道路が完成
農用地総合整備事業「下閉伊北区域」の開通式・完工式が2月19日岩泉町で行われ、関係者約110人が出席し、8年をかけた農用地や農業用道路の完成を祝いました。同事業は独立行政法人森林総合研究所森林農地整備センターが岩泉町、田野畑村、普代村の3町村で実施したもので、総事業費は183億円。区画整理や土層改良など約1

19kmの農用地を整備。農業用道路は村のうねとり山荘付近から田野畑村甲地を経由し岩泉町小屋敷までの延長15.7kmも整備しました。これにより普代―岩泉間は約20分で通行でき、3町村の新たな観光ルートや地域間交流の路線として期待されます。愛称は公募で「しもへいグリーンロード」に決まりました。



道路の開通などをテープカットで祝う関係者ら

震災後も皆で入学

普代中・普代小入学式

普代中学校(小橋正嗣校長、生徒81人)の入学式が4月6日、同校体育館で行われました。真新しい学生服に身を包んだ25人は、少し緊張した様子。新入生誓いのことばでは、



太田倫太郎君が「今日は皆が無事に入学できてよかったです。これからは何ごとにも全力で、最後までやり抜く力を付けていきたいです」と決意しました。(右写真)

翌7日には普代小学校(小山田厚校長、児童137人)で入学式が行われ、新入生21人が元気に入学。式典では初めての雰囲気には落ち

着かない様子でしたが、担任の先生に呼名されると立派に返事をし規律していました。(左写真)

小山田校長は「気持ちのいいあいさつができる子、優しく、たくましい子どもになってください」と話しました。



2年間、ありがとう

叶城倫子先生が退任



平成21年4月から2年間、村国保医科診療所長として村の医療を支えていただいた叶城倫子先生(30歳写真)が、3月31日で退任されました。叶城先生は震災のため4月1日から県立久慈病院に、その後は県立磐井病院に勤務します。



小学生が熱戦展開

冬期間の体力づくりを目的にB&G財団会長賞第19回卓球大会兼第25回普代村卓球大会が2月20日、村B&G海洋センター体育館で行われました。大会には小学1・2年、同3・4年、同5・6年男女の4部門に24人が参加。父母などの声援を背に各部門で熱戦が展開されました。

各部門3位までの入賞者(上写真)は下表の通りです。(それぞれ進学、進級しています)

【大会結果】 敬称略

小学1・2年の部	1位 熊谷心朗(普小2年)
	2位 赤坂愛夏(普小2年)
	3位 古馬理貴(普小1年)
小学3・4年の部	1位 及川仁(普小3年)
	2位 森田樹(普小3年)
	3位 深渡翔(普小3年)
小学5・6年男子の部	1位 深渡優希(普小6年)
	2位 砂子永遠(普小6年)
	3位 赤坂祥基(堀小6年)
小学5・6年女子の部	1位 上方さくら(普小6年)
	2位 赤坂美香(普小5年)
	3位 坂上なぎさ(普小6年)

平成23年第2回定例会が3月1日から3日までの3日間開かれました。平成23年度の一般会計・特別会計予算(6～7頁に掲載)をはじめ、村長、議員らの給料、報酬の一部改正、第4次普代村総合発展計画基本構想の策定など37議案の審議を行い、原案の通り可決しました。一般質問には4人が登壇。歯科医の待遇改善や年末年始の漁業被害での漁業者への支援策、携帯電話の有害サイトの被害防止策などについて活発な議論が交わされました。



活発な議論が交わされた村議会3月定例会(3月1日)

総合発展計画の基本構想 新年度予算など37議案可決

財政調整基金に 2千200万円計上

▽一般会計補正予算

補正額517万1千円を減額し、歳入歳出の予算総額を25億4795万6千円にしました。

主な歳入は、前年度繰越金902万8千円などを増額し、国庫補助金の無線システム普及支援事業費等補助金(地上デジタル放送難視聴解消事業分)617万1千円を減額しました。

主な歳出は、総務費の財政調整基金積立金2211万1千円、国保診療施設特別会計(医科)繰出金893万5千円、商工費のプレミアム付き商品券補助金100万円などをそれぞれ増額しました。

村長・議員らの 給料、報酬を減額

▽特別職の給与、議会議員報酬に関する条例の一部を改正する条例

平成23年度に支給する村長、副村長、議員ら特別職の給料、報酬を次の通り引き下げました。

▽村長57万円(減額14万円)
▽副村長52万3千円(同6万2千円)▽議長23万6千円(同2万7千円)▽副議長18万9千円(同2万1千円)▽議員17万円(同2万円)

平成23年度に支給する期末手当を村長は100分の70を、副村長は100分の50を、議会議員の議長、副議長、議員は100分の25を乗じて得た額を減じた額としました。

教育長の給与減額

▽教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正

平成23年度教育長に支給する給料の月額56万円から4万2千円を減額し、51万8千円にしました。期末手当は100分の50を乗じて得た額を減じた額としました。

社会体育館など 指定管理者に

▽普代村立普代社会体育館及び普代村自然休養村管理センターに係る指定管理者の指定

社会体育館と管理センターの指定管理者を、前年度に引き続き社会福祉法人普代村社会福祉協議会に指定するものです。期間は平成23年4月1日から平成24年3月31日までの1年間です。

また次の施設も同様の期間、指定管理となります。

▽普代村在宅介護支援センター
▽社会福祉法人普代福祉会
▽萩牛地区地域特産品生産施設
▽萩牛地区自治会
▽普代村高齢者活動施設
▽普代地区ふれあい公園
▽緑区自治会
▽普代村郷土文化保存伝習施設
▽ふだい荒磯太鼓の会
▽普

10年間の計画を策定

▽第4次普代村総合発展計画基本構想の策定について

代村農林水産物直売施設直とりも会▽黒崎農村広場施設・黒崎農村公園▽黒崎地区自治会▽堀内机農村広場・堀内机地区構造改善センター・堀内地区漁村センター・沢向地区コミュニティセンター▽堀内地区自治会▽芦渡地区多目的集会所▽落合地区多目的集会所▽芦渡地区自治会▽力持地区自治会▽白井地区漁業研修施設▽白井地区自治会

(3/28) 第3回臨時会

▽東日本大震災に伴う災害復旧に2千700万円 第3回村議会臨時会が3月

平成13年3月に策定した新普代村総合発展計画基本構想の計画期間の満了に伴い、平成23年度から32年度までの10年間の基本構想を策定しました。

「北緯40度東端の地球村ふだい」を到達目標に、「地域資源を自ら生かし、自立する村づくり」を推進します。内容は次号でお知らせします。

28日開かれ、一般会計補正予算案など8議案を可決し、閉会しました。

同予算は1億6485万7千円を増額し、総額27億1281万3千円にしました。

歳入では特別地方交付税1億1518万8千円などを増額し、歳出では財政調整基金積立金、公共施設等整備基金積立金などに1億2342万8千円、休養施設事業会計(国民宿舎くろさき荘)繰出金1085万2千円を増額。東日本大震災に伴う災害復旧費1677万9千円など、各科目に総額で2798万2千円を計上しました。



3月14日行われた地震災害現場視察の様相

主な議会の動き

【2月】

▷4日・久慈広域連合議会議員全員協議会(久慈市)▷7日・議会だより編集委員会(役場)▷11日・佐々木大和県議を囲む「新春の集い」(岩泉町)▷14日・県後期高齢者医療広域連合議会運営委員会(盛岡市)▷15日・村議会全員協議会(役場)▷17日・久慈広域連合議会定例会(久慈市)▷18日・女性農業委員登用促進に向けたキャラバン来局(役場)▷19日・下閉伊北区域農用地総合整備事業農業用道路開通式、同事業完工式及び祝賀会(岩泉町)▷20日・洋野町町村合併5周年記念式典(洋野町)▷21～22日・県町村議会議長会第62回定期総会、東部町村議会議長会臨時総会(盛岡市)▷23日・県後期高齢者医療広域連合議会(盛岡市)▷24日・村議会運営委員会(役場)▷25日・久慈地方森林組合通常総代会(久慈市)

【3月】

▷1～3日・第2回村議会定例会(役場)▷3日・津波記念日における慰霊祭(村内)▷4日・野田・普代岩友会第14回定時総会に係る懇親会(野田村)▷8日・村道普代駅前線路線変更協議(盛岡市)▷12日・県北広域振興局長へ地震災害状況説明及び要望(久慈市)▷14日・地震災害現場視察(村内)▷18日・普代小卒業証書授与式(役場)、普代中卒業証書授与式(普代中)▷19日・地震災害に係る知事への要望(役場)▷23日・県沿岸知的障害児施設組合議会定例会(宮古市)、村議会全員協議会(役場)

歯科医の待遇改善の考えは

大上 浩史 議員

議員各位の意見聞き検討

深渡 宏 村長

問 村の歯科診療は、藤原先生の長年の定住在職で、全村民の安心、安全が保たれている。藤原先生をはじめ、スタッフの並々ならぬご苦労の上

に成り立っていると思わなければならぬ。村の診療所として村長はサポートをしてきたとはいえ、十分なる待遇改善をしてこられたのか。また、平成23年度で医療体制の予算付け、先生らの待遇改善をなされているのか伺う。

村長 藤原先生は、昭和61年4月村の職員として赴任されて以来、今日まで村民への歯科診療や乳幼児歯科健診、学校歯科健診、歯科保健予防活動事業などを積極的に実施さ

れている。村民の安全、安心のため、地域医療に献身的に取り組まれていることに対し感謝申し上げている。

また、岩手医科大学歯学部との研修協力施設として臨床研修歯科医師を受け入れ、大学では修得できない貴重な体験の指導、地域医療体験実習学生の受け入れなど、後進育成にも取り組まれ、大学との連携を図っていただいている。

先生への待遇改善だが、平成4年9月、岩手医科大学の歯学部博士學位を取得されたことに伴い、平成4年10月1日特別昇給とさせていただいた。また、行政職は昇給抑制制が55歳だが、医療職の場合、

3月定例会の一般質問は3月1日に行われ、4議員が質問しました。内容を要約してお知らせします。

昇給抑制57歳になる制度を適用し、現在に至っている。

平成23年度予算編成では、歯科診療所から提出された予算要求に基づいての予算編成とした。施設老朽化による修繕、医療機器の更新などの経費が増加傾向にあるが、本年度は歯科ユニット一式を更新し、診療所の塗装工事は、財政状況を踏まえ、補正予算で対応したいと考えている。

本年度、先生らの待遇改善については、給与条例や関係規則の検討も必要になってくるので、議員各位のご意見をいただくことになる。

問 先般の大雨、水害による漁業、農林業の災害は、第一次産業の生産者に大打撃を与えた。県は早速現場を視察され、復旧に努力すると言われたが、最近の知事の発言は無利息での融資だけと言っていい。これだけでは、不十分極まりない。村の大胆な補助をすべきと思うが、村長の見解を伺う。

村長 昨年12月下旬、年末年始にかけて発生した水産被害

は、甚大なものとなった。特に定置網では網の流失や破網などで9力統全てが被害を受けており、ワカメ・コンブ養殖では、碇・種苗の流出で大きな被害を受けた。

このような状況の中、上野・宮舘両副知事、佐々木県議、畑衆議院議員、自民党県連が来村され、被害の状況視察をしていただいた。さらに、知事に漁業者の救済のための被災施設復旧支援について、関係機関・団体合同で要望したところである。

その結果、定置網復旧緊急支援資金の創設をしていただき、貸出金利1・5%のうち県が0・75%、村が残り0・75%を負担することとなった。無利子での貸し付けだけでは不十分との指摘であるが、漁協の意見、要望を踏まえ、現時点での状況では、村としても融資制度への利子補給支援と考えている。

また、今後も漁協の要請を踏まえ、可能な限り水産業振興のために支援するよう努力したい。

漁業者に村独自の支援策を

金子 泰男 議員

無利子の補給支援を実施

深渡 宏 村長

問 昨年12月下旬と年末年始の暴風雨による水産被害は、平成23年1月13日現在で5億8000万円と深刻な状況である。村も現地視察を基に、復旧支援を求めているが、過去に例のないような災害であることから、村独自の支援策を講じるべきと思う。

今までのような融資的のものでなく、漁業者がこれからも漁業を続けていこうと希望が持てるようにしていくためにも思い切った支援策を講じ、その上で、県に要望することが、より以上の効果、成果が得られると思うが、村長の見解を伺う。

村長 暴風、波浪の漁協調査報告による被害状況では、漁船被害額28隻1000万円、ワカメ・コンブ養殖施設被害額800万円、生産被害額2億2000万円、定置網施設被害額9力統3億3900万円、その他廃棄物の網、ロープ、浮標灯など3000万円、合計で被害額5億8000万円余りである。こういった状況の中、衆議



年末年始の大しけで被害を受けた養殖施設

院議員、自民党県連、県議会議員、県副知事らに被害状況調査をしていただき、知事要望に至っている。

県から定置網復旧緊急支援資金の創設をしていただいたので、村としても融資制度への無利子補給支援を実施したいと考えている。また、今後漁協の要請を踏まえながら、財政面、時期など総合的な協議を重ね、支援策について検討していきたい。

問 住宅用火災警報器は、消防法に基づき久慈広域連合火災予防条例で設置が義務付けられている。村の平成22年11月現在の設置状況は、1031世帯のうち845世帯、

設置率で81・9%である。平成22年3月の調査では、設置率が78%であった。未設置の中には、どうしても設置できないといった家庭もあると聞いている。村として、このような諸事情で火災警報器の設置が厳しい家庭に救済処置として警報器助成を行うべきと思うが、村長の見解を伺う。

村長 住宅火災の死亡原因の6割が逃げ遅れで、その死亡者の約6割が高齢者である。火災の早期発見が非常に重要な観点から、新築家屋については平成18年6月1日から、既存住宅については久慈広域連合の条例で平成20年6月1日をもって、住宅用火災

警報器の設置が義務付けられた。村内の設置率は議員お話のとおりだが、久慈広域管内でも住宅用火災警報器の設置で火災を免れた例も報告されている。村民の生命と財産を守る観点からも当然100%を目指す必要がある。しかし、一つ数千円もする警報器を複数設置しなければならぬとなると、経済状況が厳しい中、設置が難しい家庭があることは容易に想像できる。

そういう認識に立ち、まず、生活保護世帯に対しては、設置状況を調査の上、県北広域振興局と連携を図りながら設置促進に努めたい。また設置していない、それ以外の皆さんについては、設置義務化からまもなく3年が経過するし、生活の困窮程度の判断は難しいが、当面は村消防団、久慈消防署普代分署、村が一体となった啓発活動を強化しながら、支援も視野に入れ、設置率100%を目指し取り組んでいきたい。



有害サイトの被害防止策は

中上 一登 議員

情報提供で注意を喚起

熊坂 伸子 教育長

問 携帯電話の「非出会い系サイト」を介して、県内では22年1年間に24人の中高生が被害に遭っている。久慈警察署は、「出会い系サイト事件が増えている。危機意識を持ってほしい」と警告している。携帯電話を買い与えるのは保護者である。しかし、その後は目が届かないのが現状だ。携帯電話による犯罪、事件の状況などの情報は保護者に伝えられているのか対応を教育長に伺う。

教育長 非出会い系サイトというのは、ゲームなどができるサイトのこと、ゲームなどをしていいるうちは問題はないが、その中に出会い系のようなものがあり、そこにアクセスしてしまい被害に遭う子どもたちがいるということだ。

また、被害に遭った子どもたちのうち、9割が携帯のフィルタリングサービスに加入していない。フィルタリングをしていれば被害を防ぐことができたということなので、

その点についても留意しなければならぬ。携帯電話の使用については、携帯を買い与える保護者の責任であると考えている。18歳未満の子どもに携帯を持たせるときには、契約時にそ



出会い系サイトでの中高生の被害が増えています

つながるなどの新しい問題について、保護者が知るところは、難しいことでもある。教育委員会としては、県警や県教育委員会、久慈警察署の指導を受け、それら関係機関で作成した資料やパンフレットを学校に情報提供し、児童生徒への注意喚起や危険性について周知をお願いし、被害の未然防止に努めている。

保護者には、学校を通じて関係機関からのパンフレットを配布するなど周知している。中学校では、授業参観やPTA総会などで情報提供や注意喚起を促している。

問 これまで12年間、深渡村長には村の諸課題に取り組んでいただき、敬意を表する。今後の村発展の参考として、特に村長が考える喫緊の課題

を伺う。

村長 まず、村民の暮らしに直結する本村産業の振興があげられる。村民が豊かで安定した暮らしをするためには、基幹産業である水産業を中心とした産業の振興こそが最重要課題である。地域特性を生かした産業基盤の整備や雇用の改善、後継者の育成など、山積する課題を解決するため各種の産業振興対策に取り組む必要がある。

次に、少子高齢化対策や人口対策の充実である。少子高齢化の進展は人口減少の大きな要因となり、地域社会の活力の低下など深刻な問題となっている。子どもを育てやすい環境づくりや嫁不足解消、担い手育成などによる定住人口の拡大のための取り組みが必要である。

以上のことを喫緊の課題ととらえ、現在策定中の総合発展計画の方針に基づきながら、具体的な事業実施となる過疎計画や開発計画に反映させながら、事業推進に取り組んでいかなければならない。



村の水産業に甚大な被害をもたらした年末年始の大しけ（白井漁港）

問 平成21年度のエチゼンクラゲの襲来による漁業水産業の災害・被害。それを何とか乗り越えられたと思われた矢先の、年末年始にかけての大しけによる2年連続の災害。被害は甚大であり、深刻である。2年連続の災害・被害は、漁業者に計り知れない挫折感とやる気を失わせる事態となっている。

漁業水産業の衰退は、村の経済にも悪影響を与える恐れがある。そこで、今回の災害・被害の実態と全容、被害額を報告していただきたい。その上で、行政としての支援策、振興策を明示していただきたい。国、県の支援策は言

うまでもなく当然と考えるが、我々が期待するのは、村独自の実のある強力な支援策である。漁業者が将来への希望の抱ける施策を実施すべきと考えるが、村長の見解を伺う。

村長 平成21年度の定置網操業では、エチゼンクラゲの大量発生で秋サケなどの入網が阻害され、単価安などもありサケ漁は不漁に終わった。平成22年度は、今回の暴風、波浪などで水産被害は甚大で、定置網でも2年連続の不漁、被害である。水産被害額、支援内容については、大上議員、金子議員の質問の中で回答しているの、割愛させていた

だきたい。今回の低気圧被害は、漁港施設にも及び村営漁港である白井漁港、力持地区の防波堤転倒、消波ブロック飛散などの被害も発生した。1月27日には水産庁から災害査定調査官が来村し現地視察をしている。3月3日が現地災害査定

の予定である。いずれ、今回の水産被害は甚大であり、その中でも定置網の流失、破網、損傷が大きく、更新、修理しなければ次の定置網操業に支障が出ると伺っており、当然資金の借入れが見込まれると想定される。融資制度の活用をし、無事に操業していただくことを願っている。

問 村地域情報通信基盤整備事業の鉄塔建立用地の貸借関係は、どのようになっているのか。今一つ用地提供者の方が、貸借関係を理解していないと見受けられるケースがあると聞く。恐らく、用地は半永久的な貸借になると思われる。善意ある用地提供者のためにも、一段の理解を得てい

ただくためにも、今一度詳細な説明をすべきではないかと思う。同時に、応分の賃貸料の支払いをすべきではないか。または、用地の買い上げなども検討すべきではないか。村長の見解を伺う。

村長 村では、インターネット通信サービスを行う事業者を選定し、施設整備を行い、インターネット通信サービスの要する全ての経費はインターネット通信事業者の負担となる。

電柱建設用地の賃貸借についても、村が地権者の方へ事業内容などを説明した上で、基本的には、通信事業者と地権者との間で協議・契約の締結がされている。

ご指摘のとおり、事業内容の説明不足で地権者の方からのご相談を受けたケースもあり、再度の村の事業説明で了解をいただき現在に至っている。今後も引き続き民間事業者と連携し、地権者の皆さまには適切な対応を行うとともに、施設の永続的な活用が図られるよう努めていく。

漁業災害の支援策を示せ

藤嶋 利明 議員

融資制度の活用を

深渡 宏 村長



Q 三陸鉄道への補助金がいろいろあるが、この三陸鉄道の利用促進のための強化策を伺う。

A 三陸鉄道の利用者は、現在100万人を割っている。各市町村、この問題には非常に頭を悩ませている。こういった中で、1番の柱になっているのは、30万人運動である。沿線の住民が1人1回三陸鉄道を利用していただきたいというものである。それから、園児のお絵かき列車やキッズトレインの運行。三陸鉄道自体での企画列車の運行。これらによる貸し切り列車の半額助成、利用者3人以上の助成などの利用促進策を行っているが、なかなか数字に出てこないというのが現状である。

Q 村の村営住宅は、立地条件が悪く、日当たりが良くない場所に建設されている。隣村の住宅政策が新聞に載ったが、村から移住している実態である。住宅に対する村の政策は弱いのではないかと。人口対策などを考えるのであれば、迎え入れる体制をつくって、将来にわたって定住してもらえるような施策が

必要と思うがどうか。

A 村としても人口対策のために、今言われたようなことを総合的に職員、村民、地域から意見を聞いて取り組んでいく必要性があると思っている。そのような進めていきたい。

Q 特別養護老人ホームを30床増床するということが、完成時期、入所はいつ

予算特別委員会

今年の政策をチェック

予算特別委員会（小屋敷亮二郎委員長は、3月2、3日の両日開かれ、一般・特別会計の総額32億6650万円の予算を審査しました。予算特別委員会の主な質疑と答弁の要旨は、次の通りです。

ンソウ農家の遮光幕購入に對し助成するものである。

Q 浄化槽の設置を進めるために、本年度は補助率を上げたり、補助台数も増やしたということだが、来年度以降も補助率はこのままでいくのか。

A 今までの補助率は4割だったが、村単独で2割増やし6割の補助となつて

A ある年代になると消防団員を辞めるといふことがあるので、現状にあった見直しが必要だと思っている。村の職員も消防団員に加入しているが、職員数が減っている中で、職員としての業務もある。将来的には、広域消防普及分署の職員を増員して、機能を果たしていくことがいいのではないかと考える。

Q 水産業活性化補助金700万円の内容を伺う。

A アワビの稚貝を10万个、ナマコの稚苗を2万个放流するものである。村漁協は単独で、アワビ20万个、ナマコ2万5000個の放流を予定している。

動とスポ少の境目が非常に曖昧なためではないか。スポ少については教育委員会は関係がないが、もう少しかわっていかねばならないのではないのか。

A 部活動とスポ少の関係については、教育委員会として基準を定め、各学校に指示をした。内容は、練習時間はスポ少の場合、1日2時間以内、部活動は3時間以内。1週間の練習曜日も中学校だったら休養日を1日必ず取る。とか、スポ少は練習は週4日以内にするとかというもので、強制はできないが教育委員会として出させていた。

Q 小中一貫教育になった場合、新校舎の建築はどうなるのか。小中1校体制になるのか。それとも別々になるのか。また、建設用地としての条件は、どのように考えているのか。

A 小中一貫教育の校舎は、1年生から9年生まで一緒にいる1校体制を目指している。校舎も別に建設したいと思っている。これについては検討委員会を立ち上げ、考えていきたい。

いる。来年度は5割の補助を予定し、3年ぐらいは続けたと思っている。

Q 消防団幹部の日常の負担が大きい。消防本来の任務は、災害時の出動だが、現実には特別点検やポンプ操作などが大きな負担になっている。団員の確保も難しくなっている。消防団のあり方を将来に向けて考えていく時期ではないか。

A 消防団のあり方を将来に向けて考えていく時期ではないか。

村内の人の動き

4月1日付、退職者は3月31日付。表記は新職名（旧職名）氏名の順です。敬称略

小・中学校

◆新任▽普代中学校長（晴山中校長）小橋正嗣▽普代小教諭（岩大付属小教諭）橋戸孝行▽普代中教諭（宇部中教諭）外島真一▽同教諭（同教諭）高坂希▽同養護教諭（三崎中養護教諭）熊谷美加子▽同主任学校栄養士（長内中主任学校栄養士）宇部順子▽同講師（長内中講師）川崎淳子▽同講師（滝沢南中講師）中森拓哉

▽同講師（夏井中講師）繁田めぐみ▽同講師（久慈中講師）吉田幸宏 ◆転任▽長内中校長（普代中学校長）後忠美▽同教諭（同教諭）鍋久保博▽北上中教諭（同教諭）齋藤ルミ子▽来内小養護教諭（同養護教諭）西館千恵子▽長内中養護教諭（同養護教諭）嵯峨潤子▽宇部中講師（同講師）松岡裕美▽侍浜中講師（同講師）松本美香▽久慈拓陽支援学校講師（同講師）大畑友子▽桜

台小教諭（普代小教諭）安藤瑠夏▽久慈小講師（普代中講師）工藤稔夫 ◆退職▽普代中講師・阿部美香▽同・小田聡子

役場

◆課長級▽普代福祉会派遣・施設長（保健福祉課長兼保健センター所長兼保健センター管理係長兼保健係長事務取扱）大上和吉▽地域振興係長兼企画係長・地域振興係長

事務取扱（地域振興室長兼地域振興係長事務取扱）深渡幸▽住民課長兼保健福祉課長兼保健センター所長兼国民年金係長・保健係長事務取扱（住民課長兼国民年金係長事務取扱）三船雄三▽農林商工課長兼建設水産課長兼農業委員会事務局長兼休養施設管理員兼緑の村管理員兼観光センター所長（教委事務局教育次長）高屋敷眞作▽国民健康保険診療所事務局長兼国民健康保険歯科診療所事務局長兼国民健康保険診療所管理係長、国民健康保険歯科診療所管理係長事務取扱（普代福祉会派遣・施設長）宇部由明▽教委事務局教育次長兼海洋センター所長兼ふれあい交流センター所長兼海洋センター管理係長事務取扱（建設水産課主幹兼課長補佐兼水産係長事務取扱）松家喜一 ◆課長補佐級▽教育委員会主任主査兼総務係長（総務課主任主査）佐々木健一 ◆係長級▽総務課地域振興室主任（総務課主任）高井俊一▽農林商工課商工観光係長兼雇用対策係長兼休養施設管理係長兼緑の村管理係長（農林商工課

ようこそ地球村へ

記事中の数字は、①前任地②出身地③年齢④抱負——です。

①岩手医大糖尿病代謝内科②普代村③28歳④普代出身なので、皆さんに身近に感じてもらえればうれしいです。体のことで心配なことがあったら、いつでも気軽にいらしてください。



大原 美緒さん

■国保医科診療所長



小橋 正嗣さん

■普代中学校長

①軽米町立晴山中学校②洋野町③53歳④「夢と目標を持ち、実現しようとする生徒」を長年目指してきている本校のその一助を私も担いたいと思っています。誠心誠意頑張ります。



日沢 栄子さん

■認定子ども園長

①前普代小学校長②久慈市③61歳④通称：はまゆり子ども園が4月に開園しました。ゼロ歳児からの預かり、親子利用の形で子育て支援もいたします。何なりと相談、ご利用ください。

お誕生おめでとう(1人)

三田地柚奈(勇治・恵理) 中央区

ご結婚おめでとう(0組)

お悔やみ申し上げます(7人)

芦生 信一	上区	80歳
日向 クニ	堀内	72歳
赤坂 セツ	白井	62歳
野田口文男	旭日区	68歳
新屋 正一	堀内	79歳
熊谷 タマ	緑区	87歳
袈野 親雄	茂市	67歳

交通安全対策情報

■村内の交通事故《3月》

人身事故 0件(0件)

物損事故 1件(7件)

※()内は1月からの累計

飲酒運転検挙者 0人(0人)

※()内は8月からの累計

■救急車の出動回数《3月》17回

人口と世帯

3月末現在

	前月比	前年比
人口	3,052人 (-22)	(-47)
(男)	1,497人 (-9)	(-17)
(女)	1,555人 (-13)	(-30)
世帯	1,118戸 (-3)	(-1)

普代村ふるさと応援基金への寄付状況(4月20日現在)

23年度分 **1,230,000円** 累計 **2,793,000円**

44件(村内30件、県内1件、県外13件)

普代村ふるさと応援寄付の申し込み・問い合わせは、村ホームページをご覧ください。また、総務課(☎0194-35-2111、内線115)までご連絡ください。

高齢者に無料でワクチン

村では多くの高齢者の皆さんが健康で暮らせるよう、本年度から70歳以上の人を対象に「肺炎球菌ワクチン」の接種を行います。肺炎球菌は、肺炎、気管支炎、副鼻腔炎、中耳炎、髄膜炎などを引き起こす細菌の一つで、特に高齢者の肺炎の約半数は「肺炎球菌」が原因とされています。

肺炎球菌は肺炎の全てを予防するワクチンではありませんが、接種することによって、予防効果が期待されます。対象者などは次の通りです。

▶対象…村に住所があり、昭和16年4月1日以前に生まれた人(過去に接種した人は相談ください)

▶料金…無料

▶助成回数…生涯に1回助成

▶接種日時…5月18日(水)、19日(木)、25日(水)、26日(木)の4回 時間は14:30~15:00

▶接種場所…村国保診療所

▶締め切り…5月10日(火)

▶問い合わせ先…役場保健福祉課(☎35-2114)

道路が決壊したり、トンネル内が暗くなっています。歩行や車での運転時は気を付けてください。

被災世帯に対する貸付制度

県社会福祉協議会と村社会福祉協議会では、次の通り貸し付けを行っています。

①生活福祉資金緊急小口資金特例貸付(県社協)

▶貸付対象…東北地方太平洋沖地震で被災した世帯

▶貸付限度額…原則1世帯10万円以内。ただし、世帯員に死亡者がいる場合や要介護者がいる場合、4人世帯以上、重傷者、妊産婦、学齢児童がいる世帯は20万円以内。

▶貸付利子…無利子

▶返済期間…据置期間が1年以内、その後2年以内で返済

▶必要書類…実印、印鑑証明書、被災証明書、住民票謄本、健康保険証の写し、源泉徴収票か所得証明書(世帯全員分)、運転免許証(必要に応じ)など

②たすけあい資金貸付制度(村社協)

▶貸付対象…東北地方太平洋沖地震で被災した世帯または低所得世帯

▶貸付限度額…上記の県社協貸し付けと同じ限度額

▶貸付利子…無利子

▶返済期間…上記の県社協貸し付けと同じ期間

▶必要書類など…実印、被災証明書(役場住民課窓口で発行)、住民票謄本、振込口座の通帳

※被災世帯は連帯保証人は不要です。ただし同貸し付けでの重複申し込みはできません。

▶問い合わせ先…①②とも村社会福祉協議会(☎35-2100)

自動車税の納期を延長!

県では平成23年度の自動車税について、納期限を延長します。新たな納期限や納税通知書の発送時期は決まり次第お知らせします。

また、震災で使用不能や不明となった自動車は、申し立てにより平成23年度からの自動車税を課税しませんので、県北広域振興局県税室までご相談ください。

▶問い合わせ先…県北広域振興局県税室(☎0194-53-4986)

23年度の村税の納期延長

村では東日本大震災による村税の納付期限の延長や減免を行っています。

①固定資産税・軽自動車税…納期限を1カ月延長し5月31日(火)とします。

②固定資産税の減免…固定資産税課税台帳(平成23年1月1日現在)に登録されている家屋(居宅・付属家など)や償却資産(船舶、船外機など)で被災された資産が減免の対象となります。対象となった人は、納税通知書が送付されましたら5月10日ごろまでに役場税務課窓口で減免の申請をしてください。(印鑑持参)

③軽自動車税の除外…災害により滅失または損壊により使用不能となった軽自動車が除外の対象となります。役場税務課で申請をしてください。

なお、除外申請とは別に廃車手続きは必要になりますので、ご留意願います。詳しくは役場税務課(☎35-2112)までお問い合わせください。

手洗いやうがい!

地震・津波発生時のストレスや疲れから体調を崩す人が多く、特に感染症などの発生・流行が心配されます。次のことに注意し、インフルエンザ、感染性胃腸炎などの感染症や食中毒には十分気を付けましょう。

①食事をする前やトイレの後、外から帰ったときには、しっかり手洗いをしましょう。アルコール消毒液も効果があります。うが

いもしっかり行いましょう。

②トイレは汚さないよう衛生的に使用しましょう。おう吐物には不用意に触らず、必ずマスク・手袋を着用して処理しましょう。

③発熱などの症状がある人は、速やかに医師の診察を。せきなどの呼吸器症状がある人は症状が軽くても、常時マスクを着用し、せきエチケットを履行して周囲への感染防止にご協力ください。

④食料は冷暗所での保管し温度管理に注意

震災関連

地方選挙を延期します!

東日本大震災被災の影響のため、平成23年4月10日に予定されていた岩手県知事・岩手県議会議員選挙、また、4月24日に予定していた普代村長・普代村議会議員選挙の投票日が、それぞれ延期されることになりました。

震災による選挙期日等の臨時特例に関する法律が施行されたためです。これによりそれぞれの任期は、3月22日から2カ月を超え、6カ月を超えない範囲内で国が定める日が任期満了日となります。今後は日程が決まり次第お知らせします。

▶問い合わせ先…村選挙管理委員会(役場総務課☎35-2111)

被災者の生活再建の相談

久慈ひまわり基金法律事務所では、東日本大震災で被災された人を対象に、生活再建に関する国の支援制度などの相談に応じています。相談は無料です。

▶問い合わせ先…久慈ひまわり基金法律事務所 弁護士峯田幹大(☎019-61-1818)

『震災に関する悪質商法110番』

電話番号 0120-214-888

毎日10時~16時

破傷風にご注意!

被災地では、復旧作業の際にけがや刺し傷などから「破傷風」になりやすくなります。

破傷風の原因は土の中の細菌「破傷風菌」で起こる感染症です。この細菌は小さな傷口からでも体内に侵入します。感染すると、傷口の違和感や口がしびれたり、開きにくかっ

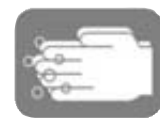
たり、首の後の緊張感などの症状から始まり、やがて全身のけいれんを起こすようになります。破傷風の潜伏期間は3日から3週間程度。被災地の後片づけの際は、なるべく底の厚い靴を履くようにしてください。

刺し傷の傷口や周囲などの腫れや痛みは、速やかに治療を受けることが重要です。不安のある人は、医師に相談してください。

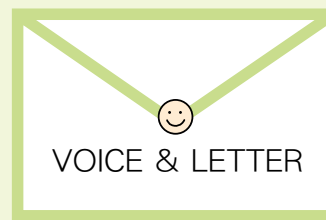
力が低下すると、かぜやインフルエンザをはじめとする多くの病気にかかりやすくなってしまいます。免疫力を高め元気な体を作るには、十分な睡眠や休養をとることはもちろんですが、何よりも重要なのは「食事」です。ヨーグルト、バナナ、トマト、ワカメ、納豆などの食材を積極的に摂るように心掛け、元気な体をつくりましょう。

免疫力のアップを!

「なんとなく調子が良くない」。それは免疫力が低下しているサインかも知れません。ウイルスや細菌、ストレスなどさまざまな外敵から自分の体を自分の力で守る力が免疫力。免疫



声・お便り & 応援メッセージ



メールやお便りなど皆さまから寄せられた村への温かいメッセージを紹介します。

広 報ふだいをいつも送っていただき、ありがとうございます。今年度も宜しくお願いします。

3月11日の東日本大震災・東北から関東海岸沿いの津波による被害のがれきの山々、目を覆う程のショックでした。普代村も大変な被害を受けてしまいましたね。心よりお見舞い申し上げます。

福島第1原発の事故・計画停電と世の中、騒然となっています。余震も続き不安な日々です。被災地・被害者の皆さまの1日も早い復旧・復興を祈念しております。皆さん、気持ちを強く持ちがんばりましょう!!

たま市在住

地形的なものや防潮堤が機能したことで、人的被害は少なく「キセキの村」という報道がされていますが、漁業被害は莫大なものです。ましてやエチゼンクラゲ被害や去年の暮れの大しけなどで、村の漁業の存続、また漁業者の皆さんは明日の収入さえない状況で、復興に頑張っています。これからも応援お願いします。

広報係

い つも広報ふだいを拝見させていただきます。大震災の後の取材・編集はさぞかし大変だったことでしょう。本当にお疲れさまでした。そして、ありがとうございます。



普代にいたころのジャングさん家族(平成20年9月)

こ んにちは。大地震と津波で皆さんは大丈夫でしょうか? とても心配しています。何回も電話をかけてみましたが通じませんでした。テレビニュースで一回だけ普代村の映像が見られました。町の中は大丈夫みたいですが、海のそばの太田名部漁港が残念ながら。

この悲しい、苦しい、大変なとき、頑張ってください。きっと乗り越えれると信じます。これから普代村の皆さん、そして被害を受けた東北の皆さんにより幸せな日々がくるように願います。九州から応援している、ジャングより(元村英語指導助手)

3月20日に電子メールで役場に届いていました。ジャングさん、いろいろ気遣ってくださり、ありがとうございます。道のりは長いと思いますが、普代の海漁業は必ず復興します。

こ の度の地震と津波の被災・お見舞いの言葉も広報係

おとうさん おかあさん あのね... 287



きょういちくん(左)とあおいちゃん(普代児童館さくら組)

しもつぼきょういちくん(下坪響一・5歳)から父・勝利さん、母・美和子さんへ

おとうさんは、だいくさんでまえにおまつりのだしをつくってたのしかったよ。つなみがきたとき、しょうぼうにいったみんなをひなんさせてくれてありがとう。おとうさんみたいなしょうぼうのひとになりたいよ!

おりょうりするおかあさんがだいすき! カレー、オムライス、シチューとかつくってね。ほくはくいしんぼうだからいっぱいおかわりするよ。おしごとがんばってくれて、ありがとう!

いしはなあおいちゃん(石花葵・6歳)から父・光雄さん、母・由佳さんへ

やさいがたっぷりはいったやきそばがおいしいよママ! すてきなおようぶくをいつもかってくれて、ありがとう! おおきくなったらパパとママのたんじょうびにケーキをつくってプレゼントするね!

わるいことをするとおこるけど、いつもはやさしいパパ。パパが作るカレーは、からいけどおいしいよ! ディズニールンドたのしかったね。またいこうね!

八木鈴江さん(東京都)

見あたりません。昔水産庁の「ひと・みなと・にぎわい」展でお世話になったものです。ささやかですが、漁業復興にエールを送りたいです。必ずの復興を信じておられます。

八木鈴江さん(東京都)

いつも「みんなのイラスト展」に元気な絵を描いてくれているみんな、ありがとうございます! 今月からまた広報クイズを始めます。みんなのイラストで「広報ふだい」を明るくするようお願いいたします。22頁下の2つの絵に違うところが3カ所あります。あゝけのうち、間違っている3カ所を探してみてください。

応募の方法

はがきに答え、郵便番号、住所(地区名)、氏名、年齢、性別、世帯主の名前、電話番号を書いて応募してください。正解者の中から抽選で5人に図書カードをプレゼントします。はがきに今月号の感想やイラストなど書いてください。紙上で紹介いたします。「がんばれ! ふだい!!」応援メッセージも引き続きよろしくお願ひします。

◎あて先: 〒028-8392 普代村9-13-2 普代村役場広報クイズ係

◎締め切り: 5月12日(木)当日消印有効

東北出身者(普代の人は特に)の方々が少しでも元気になってくれればと思います。



小野真美子さん(千葉県船橋市在住)

本当に想像を超えて、そしてこれまで築いてきた村の財産をさらっていった大津波でした。辛い日々はいつまで続くのか...と不安は尽きませんが、小生を含め村民の皆さんが、普代を応援してくれる皆さんの温かい言葉に励まされています。ありがとうございます。

去 後の大津波による被害状況は、「広報ふだい」3月号で詳しく取り上げられ全容を知ることができました。心か

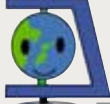
大森竹之助さん(元村教育長)久慈市在住

道のりは長く険しいですが、皆で力を合わせ一歩一歩進みます。



難易度: ★☆☆☆☆ ※イラスト: 金子望さん(紫波町在住)茂市出身

※注 色の濃さ、文字(あ~け)の下に隠れている部分は間違いに含みません



普代小児童作
「アース君」

5月のこんなこと、あんなこと

日	月	火	水	木	金	土
5/1 (先勝) 		3 (仏滅) 憲法記念日	4 (大安) みどりの日 「緑の村こどもまつり」は中止です	5 (赤口) こどもの日 		
	9 (仏滅) ・健康相談(茂市・芦渡)	10 (大安) ・1歳6カ月児・3歳児健診(受け付け12:00~12:30、㊦) ・震災復興祈願小祭式	11 (赤口) ・ジフテリア、百日ぜき、破傷風・麻しん、風しんⅠ期予防接種(受け付け13:30~13:45、㊦) ・春の全国交通安全運動(~20日)	12 (先勝) ・内科健診	13 (友引) ・健康相談(鳥居・堀内机)	14 (先負)
15 (仏滅) 			18 (先勝) ・2歳児健康教室(受け付け12:00~12:15、㊦)	19 (友引) ・BCG接種(受け付け13:30~13:45、㊦) ・麻しん、風しんⅡ期予防接種(対象:年長児、受け付け16:00~16:15、㊦)	20 (先負)	21 (仏滅) ・普代小運動会(9:00~同校グラウンド)
		24 (先勝)	25 (友引) ・2歳6カ月児歯科教室(受け付け12:00~12:15、㊦)	26 (先負) ・乳児健診(受け付け12:00~12:30、㊦) ・ブックスタート		
29 (赤口) 		31 (友引) ・固定資産税第1期納期限 ・軽自動車税納期限 ・オープンスクール(普代小)	6/1 (先負) ・健康相談(力持・白井) ・特設人権相談所(10:00~15:00、㊦)	2 (大安)	3 (赤口) ・乳がん・子宮がん検診(~4日)	㊦は保健センター ㊧は北緯40度野球場 ㊨は社会体育館 ㊩は管理センター ㊪はふれあい交流センター ㊫は医科診療所 ㊬は子育て支援室 ㊭は海洋センター

広報ふだい 4月号 No.587

発行日 平成23年4月28日
編集 普代村役場 総務課
〒028-8392
岩手県下閉伊郡普代村
第9地割字銅屋13番地2
TEL 0194㉔2111 FAX 0194㉔3017
ホームページ <http://www.vill.fudai.iwate.jp>
電子メール fudai@vill.fudai.iwate.jp
印刷 有限会社 九戸印刷

ホッと一息

▼ぐちゃぐちゃになった養殖ワカメと養殖コンブのロープが次々と船から岸壁に揚げられ、トラックで鳥居地区の網干場に運ばれていきます。そこで見たものは、岸壁ではなく山の中で片付け作業をする漁師さんの姿。津波後の漁港や普代浜もあり得ない景色でしたが、山野に広がる表紙写真のような光景もあり得ない姿でした。一瞬めまがしました。養殖用のロープの長さは1本約150㊦、それが1307本沖合いの養殖棚にありました。距離にして約200㊦分が今回の津波で全て無駄になりました。全滅です。▼昨年はエチゼンクラゲに泣いて、年末年始は大しけでまた被害に。そして巨大津波…。この難局をどうにかしたいが…。大、大、大打撃です。しかし、多くの皆さんからいただいた義援金、応援メッセージに勇気をもたらしながら皆で力を合わせ1歩1歩前に進みます。(森田)